

# 西部公民館だより

発行 西部公民館  
神ノ郷町吉町田12-1  
TEL:68-7233

## 10, 11月の事業実績と12月事業計画

日程	事業名称	実績	備考
10/25(水)	すこやか講座 交通安全教室	済	
10/28(土)	生涯学習講座 押絵教室(2)	済	
11/04(土)	生涯学習講座 押絵教室(3)	済	
11/18(土)	公民館まつり実行委員会	済	
11/30(木)	すこやか講座 落語 駒久家南朝氏		
12/17(日)	公民館役員会 & 消火・避難訓練		

### すこやか講座「交通安全教室」

10月25日(水)10:00よりすこやか講座交通安全教室を、交通防犯課の市川さんを講師として招き開催しました。高齢者は視野が狭くなっていく為、それを抑制する目の運動、記憶力が低下するので、実際に記憶力低下を認識してもらう為に演習を行うなどしました。交通事故数は全体として低下傾向にあり蒲郡市でもその傾向は同様ですが、昨年度は4件の死亡事故が発生しており、皆さんも知っている場所でのような状況でどんな事故があったのか説明してもらえました。知っている場所で起きたことはより身近に感じられ皆さん安全に対する意識も向上したと思います



交通安全講座の後は、アトラクションとして西部公民館としては久々の三味線演奏を杵屋和三園さんを招き以下の曲を演奏して頂き皆さん聞き入って見えました。

- ①紅葉の橋 ②紀伊の国 ③岡崎5万石 ④三味線メロディー(王将、チャンキおけさ、お富さん) ⑤奴さん 深川
- ⑥メロディ 無法松の一生 ⑦天竜下れば 他

### くりりんバス情報

10月の乗車人数は合計156人でした。1便当たり平均乗車人数は1.3人です。

短い秋が終わり、今年もあとひと月です。年末年始の買い出しや通院・お出かけの際は、みかんの丘くりりんバスをぜひご利用ください。年内最後の運行日は12月29日(金)です。年明けは1月4日(木)から運行開始です。

### 蒲西学区文化祭開催

・11月11日(土)西部小学校体育館において学区文化祭が開催されました。今年度披露した地域文化活動はチャラボコ(山本地区)、大正琴の二つでした。チャラボコは『板』2回、『社切』1回の計3曲を披露してくれました。曲名の呼び方が各地区でそれぞれ違い、社切のみ同じということを知りました。山本チャラボコ保存会の方ありがとうございました。・大正琴は毎週土曜日午前中に公民館にて練習しています。今回は『上を向いてあるこう』、『大きな古時計』、『サライ』の3曲を披露してくれました。大きな古時計は演奏に合わせ児童が大きな声で合唱してくれ大変良かったです。西部小児童は乗りが良いので演奏側もやり易かったと思います。・プログラムの最後にオペレッタ『ひじり山のお皿様』が久しぶりに披露されました。30年近く前には実際に児童が聖山に登りお皿様の前で合唱したと聞いたことがあります。久しぶりに聞いて懐かしかったです。西部小の伝統ですので未永く続けていって貰いたいと思います。



(チャラボコ演奏の様子)



(大正琴演奏の様子)



(ひじり山のお皿様合唱の様子)

### 生涯学習成果発表会が開催されます 会場『蒲郡市民会館』

- ◆作品展示 12月9日(土)午前9時～午後5時  
12月10日(日)午前9時～午後4時 場所/大・中ホールロビー
- ◆舞台発表 12月10日(日)午前9時30分～午後2時15分 場所/中ホール
- ◆体験講座 12月10日(日)午前9時30分～正午場所/大ホールロビー ※一部有料あり  
生涯学習活動をしている皆さんによる、舞台発表や作品展示を開催します。発表や展示を通じて、生涯学習の活動団体や公民館などの活動場所、交流の場をご紹介します。見て、聞いて、触れて、新しい学びのきっかけに、ぜひお気軽にご参加ください。新しいことをはじめませんか？

【お問い合わせ先】 蒲郡市教育委員会生涯学習課 TEL 66-1167

### ケーブルテレビで公民館保管仏像が放映されます

公民館を訪れた仏像好きの方からは、この仏像を見て『ステキー』、『立派』、『怖い顔』等の言葉を頂きます。きっと仏像として出来てから、この一年間が一番多くの方に見て頂いたと思います。又近隣の大きな博物館の方からは是非とも収蔵したいとお声かけを頂きましたが、当面の間は公民館に展示し町内の皆様の目に触れられる様にしておきます。いずれの日にか未永くお会い出来、安全な場所へと考えており、その時期が来たら公民館便り等でお知らせします。今回は三河湾ネットワークのかたより収録し放映したいとのことでした。放映は11月11日から2週間、町の風景という番組で放映されました。放映を見逃した方・ケーブルTVの見られない方は、令和6年1月以降に公民館で見られます。



## 『どうする家康』放送終了後の対応について

この10ヶ月を振り返ってみると公民館はもちろん職員も『どうする家康』の放映と上ノ郷城の登壇でその渦に巻き込まれ普通では得難い経験をし又多くのお客様から通常では得られない知識を頂きました。それらを踏まえ第2回運営審議会でお話した内容を以下に記載します。

8月19日(土)開催の公民館運営審議会の中で表記の件でお話又審議して頂きました。『どうする家康』放送終了後には上ノ郷城への来客は今年ほどは無くポツポツみえる程度と想定しています。公民館ではこれらの方を大切にしたいと考えており、次のよう事柄を実施していきます。

- ① 推定復元模型の展示を令和6年末迄延長(借用を西部小校長先生お願い済み)
- ② 御城印等の販売が引き続き出来る様に博物館にお願いする。(12月に決定)
- ③ 三河湾ネットワーク制作の『時代をたどる『鶴殿氏』』の上映を引き続き行う。
- ④ 上ノ郷城周辺マップのバージョンアップ版(古跡なども入れたもの)を公民館で制作
- ⑤ 公民館だよりにて二村順二(ペンネーム 石井文雄)さんが書かれた『鶴殿研究こぼれ話』をシリーズで連載します。(令和5年9月号より)
- ⑥ 蒲郡市観光協会の戦国歴史巡り図に西部公民館で上ノ郷城推定復元模型の展示をしている旨の記載をお願いした。(記載済)  
推定復元模型も西部小の御厚意でお借りしていますが、いつまでもとは行かないので、令和6年末を持って返却したいと考えております。しかし上ノ郷城跡、公民館を訪れた方にはマップやリーフレット配布などの案内は継続します。

## 生涯学習講座【押絵】開催

10月21日、28日、11月4日の土曜日13:30から計3回に渡り生涯学習講座の押絵講座を実施しました。

1回2時間の計6時間を目標に制作しますが、すべて一人で制作できるのはベテランの方で、皆さん助手の方の手助けを受けながらの制作でした。この講座の押絵は江戸時代から有る『周山流』の流れをくむ押絵で江戸後期より、日本橋から浅草近辺で作られてきた工芸品です。現在では墨田区、江東区、葛飾区のほか、埼玉県や神奈川県の一部でも制作されています。

押絵とは、厚紙等の台紙に布を貼ったり、布に綿をくるんだりして厚みを持たせた部品を組み合わせ、立体的な絵に仕立てたものです。

中でも流周山流押絵は、絹織物や綿織物使った部品に日本画の技法を用いて上絵や面相を描き、浮世絵の絵柄を表現しているのが特徴です。人物の似顔絵のみならず、風景や動植物などさまざまなものを題材として取り入れています。特に歌舞伎役者の押絵を作る際には、着物の作法や色合わせ、髪型等に関する深い知識が不可欠だと言われています。

現在の周山流押絵は羽子板、肖像画、額装のほか屏風や団扇の装飾などにも使われ、その美しさは広く楽しまれています。

興味のある方は西部公民館にて月に2回程サークル活動として開催していますので見学に来てください。先月号にも記載しましたが、今回の講座を取材に来ていた三河湾ネットワークでは制作の様子等を令和6年元旦より放送する予定です。



『羽子板』も制作できます 今年の制作品『辰』



## 鶴殿氏の研究のこぼれ話(4)

### 熊野別当の家系について (石井文雄)

三重県紀宝町の烏止野神社は、大己貴命を主祭神とする神社です。新宮の熊野速玉大社の目の前なのに、いわゆる熊野権現ではありません。その代わり、貴祢谷神社が、熊野権現の神霊動座を司る役割を持っています。出雲の美保神社にも、御船祭・諸手船があり、驚きます。出雲の熊野大社は、出雲大社に次ぐ古社です。伊弉冉命が黄泉の国に行く話にも、出雲と熊野が、どちらも神話の舞台になっています。

熊野別当は、熊野三山を統括する社僧の頂点に君臨する役職です。早く那智には、インドの裸行上人が修行した話があり、仏教と神社が同化していました。三山の本地仏として、本宮は阿弥陀如来の証誠殿、新宮は薬師如来、那智は観世音菩薩の浄土とされました。

大昔は、鈴木・榎本・宇井の三党が神職として奉仕していたものの、霊山修行の聖地として有名になると、都からも参詣者が増えて「蟻の熊野詣で」と言われる流行をもたらしました。地方的な存在がやがては全国的な存在に進化したので、個人営業の組織では間に合いません。平安時代中期に実在した藤原実方は、宮中で藤原行成とつまらないことで喧嘩して、一条天皇から陸奥守に任じられて、奥州に向かいました。宮城県名取市は、実方が死んだ土地で、地元には名取老女伝説や熊野神社があります。その御縁で、名取市と新宮市は姉妹都市になっています。実方以前にも熊野別当はありましたが、国家公認の別当は、実方の子孫である長快に起源があります。はじめは試行錯誤の別当も、代を重ねるごとに、人脈を増やして、都の権力者にも恐れられる、宗教と政治と経済と軍事が混然として支配する地方勢力となりました。源氏や平家の大物たちも、都から遠く離れた熊野に通い、社領を寄進し、有事の際には味方になって貰おうと画策しました。

鶴殿氏を別当の湛増の子孫に考える説もあります。鎌倉時代の承久乱に、宮方となったことで没落し、別当に替わる七人の上綱が、戦国時代まで新宮を統治しました。

## 公民館からのお知らせ

11/3(土) 三河湾ネットワークが幸田・蒲郡のサークル紹介を番組内で放映するとのことで、今回西部公民館で普段練習しているトーンチャイム演奏サークルの『どりーむちゃいむ』の取材にみえました。番組名はマイホームタウンでその番組の中のコーナーで紹介されます。放映は11月11日(水)~2週間とのことでこの便り発行時点で既に放送は終了していますが、毎週金曜13:30か西部公民館で練習していますので興味のある方は公民館に来館頂ければ生演奏を聴くことができます。



第58回東海北陸公民館大会開催されました。  
10月20日(金)岐阜県大垣市のソフトピアジャパンで『未来を指向する公民館』を主題として第58回東海北陸公民館大会開催されました。蒲郡からは主に市内の各公民館長が出席し聴講し、永年勤続表彰では東部公民館の岸本館長又府相公民館の元主事石井さんが受け、その後記念講演が有りました。

